

私立大学図書館協会
2007年度第1回東西合同役員会議事要録

日 時：2007年9月5日（水） 午後2時～午後4時00分

場 所：立教大学 12号館第1,2会議室

出席者：出席者名簿(p.3)参照

議事に先立ち、会長挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。
議事進行は、古城利明中央大学図書館長が担当した。

1. 報告事項（2007年4月～2007年8月）

1) 協会会務報告

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p.4-6）にもとづき報告が行われた。

2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校帝京大学（中嶋）から配布資料（p.7-10）にもとづき報告が行われた。

3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校大阪学院大学（矢田部）から配布資料（p.11-22）にもとづき報告が行われた。

4) 委員会報告

(1) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（青山学院大学：熱田）から配布資料（p.23）にもとづき主として次のような報告が行われた。

テーマとスケジュールについて

5,6月に2回開催し、2008年度・2009年度の課題研究のテーマと今後のスケジュールについて決定した。

アンケート送付について

2007年度研究助成を受けている立教大学図書館（伊藤氏、塩野氏）から、回収率を上げるために、アンケート実施にあたって協会名を使用したいとの連絡があり、研究助成委員会委員長名の使用を承認したことが報告された。

(2) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（東京経済大学：丸本）から配布資料（p.23-25）にもとづき主として次のような報告が行われた。

2007年度特別会計予算について

2006年度決算は、シンポジウムが未開催であったこと、海外集合研修も7名を予定していたが、4名実施のため残金が出ている、搬送事業も執行額が予算に比して少ない状況である。2007年度予算は、シンポジウムについては、前年度未開催のため、2回開催分の予算となっている。

第1回搬送事業

今回応募のあった3大学 - 明治大、神戸学院大、聖トマス大（前の英知大）に決定し、それぞれの見積りを取り搬送準備しているところである。

海外派遣研修

例年の受け入れ先であるモートンソン・センターにプログラム料金ほかを送金した。また今年度派遣の立教大・伊藤氏にも7月に現地での生活費を支給した。円安なので予算を5万円ほどオーバーした。

海外集合研修

アメリカだけでなく、韓国も視野に入れて見積りを旅行業者からとってみた。今年の3月派遣の結果も踏まえ、アメリカ派遣で検討し、韓国は次年度に検討したい年度はアメリカなら3月派遣を目処に募集を行う。

国際図書館協力シンポジウムについて

OCLCのメンバーでもあり、2006年度のACRLの Librarian of the Year に選ばれたワシントン大学図書館長の Lizabeth (Betsy) A. Wilson 氏と紀伊國屋を介してコンタクトをとっている段階である。

国際図書館協力基金の依頼

昨年度協力していただいた16社に加え2社追加し計18社に依頼した。

(3) ホームページ委員会報告

ホームページ委員会委員長(駒澤大学:川越)から配布資料(p.25-26)にもとづき主として次のような報告が行われた。

協会ホームページの加盟館名簿

リンクされていない大学の修正や、加盟館名簿のあり方について検討したい。

私立大学図書館協会WWW情報資源提供サービス利用細則の改正について

文言の修正を検討した。

5)協会関連事項報告

会長校中央大学(荒木)から配布資料(p.26-28)にもとづき以下の報告が行われた。

(1) 国公立大学図書館協力委員会について

ICOLC 第9回ヨーロッパ大会(ストックホルム)への派遣について

常任幹事館・慶應義塾大学に依頼し、メディアセンター本部課長代理・平吹佳世子(ひらぶき かよこ)氏と回答した。

(2) 日本図書館協会 平成19年度 第93回全国図書館大会後援について

後援名義使用のみで、経費は発生しないことから了解したい。この件については、回答期限との関係から事前に常任幹事会出席校には連絡して了解を得ている。

(3) 第9回図書館総合展後援について

昨年同様に後援を承諾することとした。

(4) 情報保存研究会・日本図書館協会共催シンポジウム後援について

テーマとして適正に欠けるものでなく、特段費用も発生しないことから了解することとしたい。

6) 公私立大学図書館コンソーシアム(PULC)への宛名シール提供について

会長校中央大学(荒木)から配布資料(p.29)にもとづき報告が行われた。

7)2007 年役員校、委員会および協会関連団体等委員

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p.30-32）にもとづき主として次のような報告が行われた。

- (1) 6月の部会総会資料で慶應義塾大学の石黒敦子氏が抜けていたのを訂正した。
- (2) 図書館年鑑編集委員については、資料にこれまで記載されていなかったが、会長校から派遣しているので資料に追加した。

8)行事・会議予定

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p.33）にもとづき報告が行われた。

2．協議事項

1)2006 年度一般会計・特別会計決算報告書（案）について

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p.34-36）にもとづき、2006 年度一般会計ならびに特別会計に関する決算について提案が行われた。

続いて、監事校を代表し南山大学（栗山）から配付資料（p.37）にもとづき、2006 年度一般会計収支決算書・特別会計収支計算書について監査を行った結果、適正に処理されている旨の報告が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

2)2007 年度事業計画(案)について

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p.38-40）にもとづき、主として次のとおり説明ならびに提案が行われた。

「本事業計画(案)は、p.38 のとおり若干文言を変更した他、すべて 2007 年 3 月開催の東西合同役員会において提案・説明した内容である。」

協議の結果、提案のとおり承認された。

3)2007 年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p.41-43）にもとづき、2007 年度一般会計ならびに特別会計に関する決算について提案が行われた。

(1)一般会計

【収入／会費】：昨年度末の加盟校数 496 校を基礎数として算出。

【支出／事務費】：会長校交代による消耗品、振込手数料等で 100,000 円増額。

【支出／通信費】：会長校交代による書類送付等で 100,000 円増額。

【支出 / 部会交付金】: 新規加盟校 10 校分 130,000 円増額。

【支出 / 協会 HP 有料サイト利用料】: サーバーの容量増で 31,500 円増額。

【支出 / IFLA 負担金】: 値上げ、円安で 38,000 円増額。

(2) 研究助成特別特別会計

【支出 / 研究助成金】: 計 3 件うち 2 件は昨年より継続、167,580 円増額。

(3) 国際図書館協力基金特別会計

【収入 / シンポジウム参加費】: 06 年未開催のため、07 年に 2 回分で算出。

(4) 総会・研究大会特別会計

立教大学より資料のとおり予算計上

【収入 / 総会・研究大会開催特別協力費】: 当初、参加者を300名として予算を組んだが、結果的に総会322名、研究大会340名の参加があり、また、インフォ・デスク使用企業から特別協力費として240,000円増額し、06年に比べて約1割収入が増額。

協議の結果、提案のとおり承認された。

4) 2008年度、2009年度課題研究研究テーマについて

青山学院大学（熱田）から配布資料（p.45-46）にもとづき主として次のような報告が行われた。

2008年度、2009年度では、2年間共通の課題を設定し、統一テーマのもと、3つの分野で課題を設定。その中で、図書館が現在抱える様々な問題について、自館の現状認識を踏まえた実態調査、分析等を実施しうるように、p.46のとおり具体的な例示も付記。

協議の結果、提案のとおり承認された。

5) 協会ホームページのサイトポリシーの制定について

会長校中央大学（荒木）から配付資料（p.47-48）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

6) 新規加盟校（案）について

会長校中央大学（荒木）から配付資料（p.49）にもとづき、次のとおり説明ならびに提案が行われた。

「本年度の新規加盟申請は 10 校である。本役員会で承認がなされれば総会に提案したい。」

協議の結果、提案のとおり承認された。

7) 第69回(2008年度)総会・研究大会について

次期当番校國學院大學（古山）から配付資料（p.50）にもとづき、説明ならびに提案が行われ

た。

協議の結果、今後、國學院大學と会長校で作業を進めることで承認された。

8) 2007年度研究助成計画変更について

会長校中央大学（荒木）から配付資料（p.51）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

3. 懇談事項

1) 第68回（2007年度）総会・研究大会当番校立教大学（小野田）から、当日のスケジュール等について説明があった。

2) 午餐会の開催方法について

会長校中央大学（荒木）から、説明があった。

「永年勤続表彰廃止に伴い、開催の意義が問われたが、立教大学の意向で協賛企業へお礼を述べる場として、「連携」というテーマを考えると意味があるので今年度は開催することとなった。来年度については、次期当番校の國學院大學と協議し、東西役員会で報告する。」

3) 次期役員校、総会当番校の選出について

会長校中央大学（荒木）から、次のとおり説明があった。

「「総会当番校一覧」を参照し、今後どこまで決定すべきか意見を伺いたい。東地区総会当番校については、早急に決める必要があるので部会長校・帝京大学に対応をお願いしたい。本日昼に行われた、第2回東地区部会役員会事務連絡会で、数校候補が挙げられたとの報告があった」

4) 私立大学図書館協会加盟図書館名簿について

会長校中央大学（荒木）から、次のとおり説明があった。

「2005年度から簡易なものに移行したため、協会ホームページに掲載するだけで良いのではないかとの意見があるが、リンクが禁止されている大学もあるとの報告があったことから、完全には移行できないと判断し、昨年度と同じ形式のものを、今年度も総会で配布することとした。前回の常任幹事会では、会長校で状況を調査することになっていたが、既に南山大学・石田前協会ホームページ委員会委員長が昨年該当の各大学に対して調査しているため、会長校と協会ホームページ委員会と協力し整理する予定である。」

5) IFLAについて

会長校中央大学（荒木）から、次のとおり説明があった。

「現在事業の関連性がないことから、2008年度は退会の方向で検討したい。」

これに対して、反対の意見はなく、賛成の意見が出されたことから、退会の方向で次回提案

することとなった。

以 上

<資料訂正>

<誤>

p.4 11行目 神戸夙川学院大学 (2007年5月1日受理)

p.27 7行目 2006年5月23日

p.27 下から5行目 2006年5月25日

p.43 9行目 インフォ・ディスク

p.45 2行目 (1) 6月28日(金)

<正>

(2007年6月28日受理)

2007年5月23日

2007年5月25日

インフォ・デスク

(1) 6月28日(木)